



**ふるさと名物**  
Furusato Meibutsu

わが市町村の  
ふるさと名物は  
これ!



**岡山県吉備中央町**  
が応援するふるさと名物

「ベリーグッドなまち吉備中央町」  
のブルーベリー加工品と農業体験



町のマスコットキャラクター  
へそびー





ふるさと名物  
Furusato Meibutsu

平成30年9月30日

応援宣言

岡山県吉備中央町

## 活力と魅力のあふれる理想郷

地域の  
プロフィール



岡山県のほぼ中央に位置する吉備中央町は、町の約7割が森林で覆われ、吉備高原と呼ばれる標高120～500mの高原地帯にあり、比較的緩やかな地形の中に里山の美しい景観が広がる人口約12,000人の町です。

高原特有の昼夜の寒暖差が大きいことから、稲作を中心に高原野菜や黒大豆、ピオーネ、シャインマスカットをはじめとするぶどうや白桃などの果樹栽培が盛んでこれらの作物を主に関西圏市場に出荷し、好評を博しています。

ブルーベリーは、農家の高齢化が進む中、小果樹で栽培が比較的容易であり、収穫作業も手軽であることに町が注目し、作付を推奨したことから、また平成17年10月に栽培農家による生産組合が設立され、品種選定や栽培方法の研究、精力的な栽培活動を行う中で、現在では岡山県内1位の生産地となっています。

近年では、良質なブルーベリーを活用した特産品づくりや観光農園、加工体験などが活発に行われています。

## 1

### 主な地域資源

## 吉備中央町の爽やか吉備高原ブルーベリー！

### ◆青い宝石ブルーベリー



食べると口の中に甘酸っぱさがいっぱい広がるブルーベリー。生食では勿論、ジャムやケーキなどの加工品の材料としても人気があります。

ブルーベリーはアントシアニンを多く含有し、眼精疲労、ピント調整機能の改善や体の老化を防ぐ、活性化酸素を除去する効果効能を持っているとも言われています。その他、食物繊維、ビタミンA、ビタミンE、ビタミンCも含んでおり栄養価が高く、健康食材として注目を集めています。

長年続けられてきた吉備中央町のブルーベリー栽培ですが、ブルーベリー栽培に適した高原の気候により、今日までに生産量は増加し、岡山県内1位の生産量を誇るようになりました。この地域資源を活用し、様々な加工品が作られています。

## 2

### ふるさと名物

#### ◆ブルーベリーの加工品

ブルーベリーは、どんな食材にも相性がよく加工に適しており、次に挙げるように徐々に新しい町の特産品が誕生しています。

ジャム、ゼリー、クッキー、大福、ジュース、ワイン、ドレッシング、ソース、パフェ、お餅、寿司、カレー

#### ◆ブルーベリーワイン「イーグルアイ」

1本(720ml)当たり、1.2kgものブルーベリーの果実を贅沢に使用したワインは、雑味が少なく飲みやすいのが特徴で、肉料理、魚料理どちらにもあうと好評です。

#### ◆ブルーベリー餅

杵つき餅にブルーベリーの果汁を入れてみました。とってもきれいな紫色のお餅ができました。ほんのり香る風味は…。是非一度ご賞味ください。



## 2

ふるさと名物

### ◆農業体験

#### ◆ブルーベリー狩り

ブルーベリー農園(ほ場)の中には、ブルーベリー狩りができる場所があります。たわわに実った多品種を収穫し食べ比べてみてください。それぞれに特徴がありますが、吉備中央町の自然の中で太陽の光をいっぱい浴びて育ったブルーベリーはどれも美味しいこと間違いなし。品種により熟す時期が異なるため、6月下旬から9月上旬まで楽しめます。時間制限なし食べ放題の農園もあります。



#### ◆ジャムづくり体験

ブルーベリージャム作りが体験できる場所があります。簡単に作れておいしいジャム。地元のおじさん、おばさん達との会話を楽しみながら、親子や仲間で作るオリジナルなジャムは最高です。

## ブルーベリー植栽助成金事業

岡山県内1位の生産量を誇る吉備高原のブルーベリーですが、町外における認知度はまだまだ低く、ブルーベリーの産地として栽培をより振興するため、吉備中央町ではブルーベリーの苗と土壌改良資材の購入費用に対して支援を行っています。本事業により、平成17年から現在までに約13ha作付面積が増加、約100戸が町ブルーベリー振興協議会に加入し積極的な栽培と商品開発を行っています。

## イベント・PR

吉備高原のブルーベリーの加工品をPRする機会として、「さんさん祭り」、「わっしょい和んさか吉備高原フェスタ」などが毎年開かれています。これらのイベントには、その他にも多くの特産品などが集まっており、多くの方にPRする絶好の機会です。



## 農家民宿・プチ移住体験

自然に恵まれ農業が盛んな本町では、平成27年9月に吉備中央町農家民宿推進協議会が設立され、現在10軒の農家の方々が農家民宿を営んでおり、農作物の収穫、牛の餌やり、加工品作り、またブッポウソウ(希少種)の観察、ホテル観賞等を行っていただくことができます。旬の野菜、山菜をふんだんに使った郷土料理やジビエ料理も魅力です。

非日常的な体験をすることによって心身ともにリフレッシュしませんか。民宿のおじさん、おばさんと方言交じりの会話をして癒されてください。きっと第二の「ふるさと」となるでしょう。



餅つき体験・こんにゃくづくり体験



# 町長の応援メッセージ



吉備中央町長  
山本雅則

本町は豊かな自然をはじめ、国指定の重要文化財や県・町指定の文化財が数多くあり、県下三大祭りの内の二つ、加茂大祭と吉川八幡宮当番祭が受け継がれるなど、古き良き“こころのふるさと”と呼べる風土が息づいています。

また、町内には乗馬倶楽部、植物園、天体観測施設、キャンプ場などレクリエーション施設も多く、また農作業等の非日常的な体験ができる農家民宿があり、メンタルヘルス(セラピーリゾート)タウン構想の実現に向け、官民連携の取り組みを進めています。

米どころであり、高原野菜、ブルーベリー、ピオーネ、桃、梨などの評価の高い農産物・フルーツを生産しており、町内に2カ所の道の駅と農産物販売所があります。

そこで、この地が育んだブルーベリーが作り出す加工品や農業体験を、吉備中央町のふるさと名物として応援することを宣言します。